

シクラメンのお手入れ方法

『お手入れカレンダー』 お花を元気に育てていただくための参考として、見やすい場所に貼ってください。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育	開花期					強制休眠			花芽分化			開花期
置き場所	室内(適温15 前後)		雨の当たらない戸外		雨の当たらない涼しい場所			雨の当たらない戸外		室内(15 前後)		
日当たり	ガラス越しの直射日光		20~30%遮光		日陰			20~30%遮光				
水やり	乾いたらたっぷり			回数減		水やり中止			回数増		乾いたらたっぷり	
施肥	10日に1回1,000倍の液肥					施肥中止			10日に1回1,000倍の液肥			
整姿	葉組み									葉組み		
作業	花殻取り								植え替え			花殻取り

この表は、関東地方の平均的な気温を基準としているので、地域によって表とは時期が異なる場合があります。あくまでも気温を目安にして下さい。

置き場所/ 日当たり	<p>【開花期】窓越しに日光が当たる暖かい場所に置きます。ただし、夜間の低温に触れさせないように、日中窓際に置いた鉢は部屋の中央に移動させます。また、暖房器具の近くに置くと、すぐに傷みます。 <u>生育適温の15 前後で管理してください。</u></p> <p>【成長期】4月からは日差しが強くなるので、室内ならレースのカーテン越し、戸外でも同程度の遮光を施します。</p>
葉が黄色く なったら...	日光不足になると、下葉から少しずつ黄変して株が弱ってきます。日当たりの良い場所に移し、黄ばんだ葉は根元からねじるように抜き取ります。
水やり	<p>【開花期】土の表面が乾いたら、昼前の暖かい時間帯に鉢底から水が流れ出すまでたっぷり水を与えます。花や葉、球根に水がかからないよう鉢の縁から静かに注ぎます。</p> <p>【成長期】 下記夏越し参照。</p>
急にしおれ たら...	土が乾きすぎると急激にしおれることがあります。その場合、すぐにたっぷりと水をやり、垂れ下がった葉や花を立てるように鉢ごと新聞紙でくるみ、株からの蒸散を抑えて回復を待ちます。
施肥	固形肥料と液肥を併用して与えます。購入後1ヶ月を目安に大粒の化成肥料を与えます。液肥は1,000倍に薄めて、10日おきに与えます。夏越しの期間は施肥を中止します。
葉組み	葉を外側に集めるように絡ませ、中心部を広げてつぼみや葉芽によく日光を当てるようにします。こうすることにより、花数も多くなり、形も整います。
花がら取り	咲き終わった花や枯れた葉は、病気の原因になるので、早めに取り除きましょう。茎の根元をつまみ、ねじるように引き抜きます。ハサミを使うと切り口が大きくなり、雑菌侵入の原因になります。また抜き取る場合も、雑菌が入りやすいので前後の水やりは避けます。
夏越し	【休眠法】花が終わったら徐々に水やりの回数を減らし、新しい葉が開かなくなったら水やりをやめて、雨の当たらない風通しの良い日陰で夏を越させます。8月下旬から少しずつ水やりを再開し、植え替えをします。
植え替え	植え替えは9月に行います。球根は、根を傷めないように古い土を全部落とし、新しい用土を入れた1回り大きな鉢に、頭が半分くらい表面に出るよう植え付けます。